

こ に は
ん ち

し も す わ 町 議 会

で す

六月定例会・臨時会（二件）

四月臨時会	南小改修（二期）補正予算	4月21日
五月臨時会	議会人事案件	5月12日
六月定例会	南小改修（三期）補正、 条例改正、町道関係	6月3日 17日

目次

主な議案の内容と審査内容	2
議案、陳情、意見書の採決結果	4
提出された意見書の内容	5
5月臨時会における人事議案について	7
一般質問	8
議会のアレコレ	13
商工会議所との懇談会	14
議長のつぶやき・議会雑感	16

VOL.4 平成26年(2014)7月25日

編集／議会だより編集委員会 発行／下諏訪町議会

電話(0266)27-1111 FAX(0266)27-1237

<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/gikai/index.html>



ゆたん歩° 開所式で

● 4月臨時議会

専決処分3件を承認

平成26年度一般会計補正予算（第2号）

議案第31号

下諏訪町税条例等の一部を改正する条例で、以下六つの改正。
① 外国法人に対する法人町民税率引き下げ② 軽自動車税の税率引き上げ③ 償却資産に対する固定資産税の特例措置の導入④ 耐震改修に伴う固定資産税の減額措置の創設⑤ グリーン化推進の観点からの税率重課⑥ 東日本大震災に係る特例の削除。原案通り承認。

議案第32号

下諏訪町都市計画税条例の一部改正する条例で、固定資産税等の特例が改正されたことに伴う項ずれの整合性を図ることに加え、新たに取得した一定の公施設等の用に供する家屋及び償却資産について、取得後五年間はその価格を五分の四とすることを追加するものであり、原案通り承認。

議案第33号

下諏訪町国民健康保険税条例の一部改正する条例で、課税限度額及び軽減判定所得の基準を見直すもの。主な内容は後期高齢者支援金に係る課税限度額を16万円に、介護納付金に係る課税限度額を14万円に改めるものであります。税率改正に伴う予算補正がないのは整合性が取れないとの反対討論がありました。挙手多数により承認。

一般会計補正予算（第2号）を可決

一般会計補正予算（第2号）における総務経済常任委員会に関するものとして、平成26年度から公共工事設計労務単価等が改定、適用されたことにより、当初予算計上した庁舎耐震改修事業費の労務費と資材費の積算

見直しを行うための増額補正です。討論では積極的には賛成できないが、価格上昇は顕著であり、やむを得ない。下請けにも反映されるよう対応して欲しいと賛成意見。生活文教委常任委員会に関するものとして、南小学校改築

事業費の補正についても、労務単価や資材の高騰によるものです。2期工事も77%の進捗状況にある。厳しい状況であるが鋭意努力して完成して欲しいとの賛成討論があり、原案通り可決しました。



増額補正された庁舎耐震及び改修工事 起工式



改修工事が進む南小学校

六月定例会

初日に庁舎耐震改修・南小改築の請負契約など議決

6月定例会では13議案・9つの陳情を審査しました（一覧は4P掲載）。
議案に対する主な審査内容を、ご報告します。

△人事▽

議案第35号

固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員

会委員は定数3人で、工業、商業、農業それぞれの分野から選任されています。今回、工業関係の代表として、小口新一さん（清水町 59歳）の選任に、同意しました。尚、任期は3年です。

△専決▽

議案第36号

平成25年度

一般会計補正予算

議案第37号

平成25年度

特別養護老人ホーム

特別会計補正予算

議案第36号は、交付金の増、ふるさとまちづくりに寄附金の受領、事業費の確定、入札差金の発生、預金利子の増加等により、歳入歳出それぞれに9、042万2千円を

追加するもの。

議案第37号は、7人の方から頂いた寄附金合計13万円を、特別養護老人ホーム福祉施設基金に積み立てるもの。

両議案とも、全会一致で承認しました。

△請負契約の締結▽

議案第38号

庁舎耐震補強及び

大規模改修工事

請負契約の締結

議案第39号

下諏訪南小学校

改築工事(第3期

建築主体工事)

請負契約の締結

議案第40号

下諏訪南小学校

改築工事(第3期

機械設備工事)

請負契約の締結

庁舎耐震改修工事を7億6、680万円で興

和・サンワ特定建設工事

共同企業体(JV)と、

南小改築工事(3期分)

の建築主体工事を4億

6、116万円で岡谷・

六協特定JVと、機械設備工事を4、273万5、600円で松沢工業下諏訪営業所と、それぞれ請負契約を結ぶものです。

全会一致で、可決しました。

△補正予算▽

議案第41号

平成26年度

一般会計補正予算

(第3号)

南小改築工事(2期工事のうち今年4月から7月分)にインフラスライド条項を適用し、1、404万円を増額するもので、全会一致で可決しました。

★議案第38号から第41号は、事業が遅滞なく進められるよう早急な議決が求められ、初日に審査・採決が行われました。

★議案第41号の可決を受け、最終日に岡谷・六協特定JVと請負契約を変更する内容の議案第47号が上程されました。

総務経済常任委員会 審査内容

委員長 林 元夫

議案第42号 非常勤消防団員処遇改善のための退職報償金の引き上げ。討論では、さらに消防活動の充実を求める賛成意見があり、原案通り可決。

議案第43号 町道町屋敷4号線の町道認定を廃止するもの。

議案第44号 一ノ沢地籍の林道専用道工事で、計画路線が一部町道と重複していて、国庫補助対象

として採択されないため、町道認定を廃止するもの。議案第43号とともに現地調査を行い、審査し、原案通り可決。

議案第46号 ほとんどの補正が、県補助金やコミユニティ助成金の採択を受けた財源振替であり、町の財政にとって大変ありがたいと賛成討論があり、原案通り可決。

生活文教常任委員会 審査内容

委員長 濱 章吉

議案第39号 価格と品質が、総合的に優れた調達できるか審査をし、原案通り可決。

議案第40号 前議案同様の審査をし、原案通り可決。

議案第41号 資材や労務費が上昇し、再度の積算や協議を重ねた経緯を受けとめ、原案通り可決。

議案第47号 2学期からの使用に遅れないように要望して、原案通り可決。

一目でわかる議決結果 4月臨時会・6月定例会

議決結果

4月臨時会	議案第31号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第2号） 下諏訪町税条例等の一部を改正する条例	承認(全員)
	議案第32号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第3号） 下諏訪町都市計画税条例の一部を改正する条例	承認(全員)
	議案第33号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第4号） 下諏訪町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認(全員)
	議案第34号	平成26年度下諏訪町一般会計補正予算（第2号）	可決(全員)
6月定例会	議案第35号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
	議案第36号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第1号） 平成25年度下諏訪町一般会計補正予算（第11号）	承認(全員)
	議案第37号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第5号） 平成25年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第3号）	承認(全員)
	議案第38号	下諏訪町庁舎耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について	可決(全員)
	議案第39号	平成26年度下諏訪南小学校改築工事(第3期工事)（建築主体工事）請負契約の締結について	可決(全員)
	議案第40号	平成26年度下諏訪南小学校改築工事(第3期工事)（機械設備工事）請負契約の締結について	可決(全員)
	議案第41号	平成26年度下諏訪町一般会計補正予算（第3号）	可決(全員)
	議案第42号	下諏訪町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
	議案第43号	町道路線の廃止について	可決(全員)
	議案第44号	町道路線の一部廃止について	可決(全員)
	議案第45号	下諏訪南小学校新北校舎備品購入契約の締結について	可決(全員)
	議案第46号	平成26年度下諏訪町一般会計補正予算（第4号）	可決(全員)
	議案第47号	下諏訪南小学校改築工事（建築主体工事）請負契約の変更について	可決(全員)

陳情審査結果

6月定例会	平成26年陳情第4号	「過労死防止基本法の制定を求める意見書」採択を求める陳情	採択(全員)
	平成26年陳情第5号	長野地方裁判所各支部における労働審判の開設についての陳情	採択(全員)
	平成26年陳情第6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択(多数)
	平成26年陳情第9号	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める陳情	採択(多数)
	平成26年陳情第10号	子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める県への意見書の提出を求める陳情	採択(全員)
	平成26年陳情第11号	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情	不採択(少数)
	平成26年陳情第12号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情	不採択(少数)
	平成26年陳情第13号	不登校・ひきこもり等支援事業に関する陳情	継続審査
	平成26年陳情第14号	新「武器輸出原則」撤回を求める意見書の提出についての陳情	採択(多数)

意見書案議決結果

6月定例会	平成26年意見書案第3号	過労死等防止対策推進法の制定を求める意見書	可決(全員)
	平成26年意見書案第4号	長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書	可決(全員)
	平成26年意見書案第5号	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	可決(多数)
	平成26年意見書案第6号	労働者保護ルールの後退につながる法改正に反対する意見書	可決(全員)
	平成26年意見書案第7号	子ども・障がい者等の医療費医の窓口無料化を求める意見書	可決(全員)
	平成26年意見書案第8号	「防衛装備移転三原則」撤回を求める意見書	可決(多数)

4月臨時会・6月定例会議案等賛否一覽

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順) 議案番号等	議決等結果	中	津	河	松	小	金	藤	濱	青	林	小	中
		村 奎 司	金 裕 美	西 猛	崎 茂 彦	口 峯 一	井 敬 子	森 スマエ	章 吉	木 利 子	元 夫	池 忠 弘	山 透
議案第33号	承認(多数)	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成26年陳情第6号	採択(多数)	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年陳情第9号	採択(多数)	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年陳情第11号	不採択(少数)	/	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×
平成26年陳情第12号	不採択(少数)	/	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×
平成26年陳情第14号	採択(多数)	/	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×
平成26年意見書案第5号	可決(多数)	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年意見書案第6号	可決(多数)	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年意見書案第8号	可決(多数)	/	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×

議案等賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。退席者は「退」、欠席者は「欠」としています。
議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。
法律により、採決に加われない議案については、「除」と表現しています。

意見書 → 国に提出

意見書第3号

過労死等防止対策推進法の制定を求める意見書

過労死が社会問題となり、「karoshi」が国際語となってから四半世紀が経ちます。過労死が労災であると認定される数は増え続けており、過労死撲滅の必要性が叫ばれて久しい状況です。労働基準法は、労働者が過重な長時間労働を強いられるのを禁止していますが、十分に機能しているとは言えません。

本意見書は、過労死等防止対策推進法の制定により、過労死はあってはならないことを国が宣言し、調査・研究を行うとともに、総合的な対策を行うことを求めるものです。

意見書第4号

長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書

平成18年4月に始まった労働審判制度は、個々の労働者と事業主との間に生じた労働関係に関する紛争を、迅速、適正かつ実効的に解決することを目的とした制度で、導入以来、全国的に労働審判事件の申立件数は増加しています。

しかし、長野県では労働審判事件を取り扱っている裁判所は長野地方裁判所本庁のみのため、中南信地域の住民の申立ての障害となっています。国民に対する司法サービスの提供は、地域間で格差があってはならないことから、本意見書は、国に対し長野地方裁判所各支部、とりわけ松本支部における労働審判事件の取扱いの開始と、そのための人員増員、施設の整備を求めるものです。

意見書第5号

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

今や雇用労働者の3人に1人は非正規雇用、年収200万円以下のワーキング・プアであり、平均賃金は15年前に比べて10%も減っています。また、最低賃金の地域間格差は大きくなっています。

本意見書は、中小企業への支援策を拡充しながら最低賃金を上げることや、地域間格差をなくすため全国一律最低賃金制度確立等の施策や、雇用の創出と安定に資する政策の実施を国に求めるものです。

意見書第6号

労働者保護ルールの後退につながる法改正に反対する意見書

「雇用社会日本」の主人公である雇用労働者は、日本の労働者の9割を占めます。労働環境と処遇を整備することが、デフレからの脱却、ひいては日本経済・社会の持続的な成長のために必要です。

しかし、いま、政府内では、「成長戦略」の名の下に、「解雇の金銭解決制度」や「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある「限定正社員」の普及、労働者保護の後退を招くおそれのある労働者派遣法の見直しなどの労働者を保護するルールの後退が懸念される議論がされています。働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことは決して許されることではありません。

したがって、本意見書は、これらの導入や改正を行わないこと、雇用・労働政策に係る議論はILOの三者構成主義に則り労働政策審議会で行うことを、国に求めるものです。

意見書第8号

「防衛装備移転三原則」撤回を求める意見書

政府は、「武器輸出三原則」を撤廃し、武器や関連技術の輸出を包括的に解禁する「防衛装備移転三原則」を4月に閣議決定しました。

「武器輸出三原則」は、憲法9条の理念に則った国是とされてきました。日本が武器や技術を輸出することが国際紛争の助長につながる危険性が限りなく増大し、戦後、日本が武器を輸出してこなかったことで果たしてきた積極的な役割や国際的信頼を自ら傷つけることとなります。

本意見書は、国に対して、武器輸出三原則「見直し」を行わず、「防衛装備移転三原則」を撤回することを要望するものです。

意見書

→県に提出

意見書第7号

子ども・障がい者等の医療費の窓口無料化を求める意見書

長野県の福祉医療制度では、いったん窓口で医療費を支払い、2～3ヶ月後に口座振込みされる自動給付方式になっていますが、子育て中の世帯、母子家庭、障がい者やその家族が経済的な心配をしないで、安心して医療を受けられるよう窓口無料化が求められています。全国ではすでに、子どもの医療費で37都府県、障がい者医療費では30都道府県で、窓口無料制度が実施されています。

よって、本意見書は、長野県においても、関係機関と理解を深めた上で、子どもと障がい者等の医療費の窓口無料化を実施するよう求めるものです。

中村國彦議員が急逝

水資源の保全に尽力し ひたむきに、誠実に生き抜く

4月20日、中村國彦議員が急逝されました。生活文教常任委員長であり、議会運営委員、また議員選出の農業委員でもありました。中村國彦議員の急な訃報は、私たち議員にとって衝撃であり、深い悲しみです。そして議会にとっても大きな痛手でありました。

5月12日臨時議会を開催し、後任の人事を決め、引き続き町民の負託に応えられる体制を整えることとしました。

生活文教常任委員長に濱章吉議員、 農業委員に青木利子議員を選出

臨時議会に先だち全員協議会を開催し、生活文教常任委員長は、現在の生活文教常任委員から選出することを決定し、本会議に臨みました。

そして新生活文教常任委員長に濱章吉議員を、農業委員に青木利子議員を選出しました。なお議会運営委員長は、常任委員長が兼務するため濱章吉議員となります。

六月本会議では故中村國彦議員のご家族をお呼びし、追悼の言葉を捧げました。



水源地を視察する 故 中村國彦議員



故 中村國彦議員

6月定例議会における 「追悼の言葉」

新生活文教常任委員長 濱 章吉

本日ここに、去る四月二十日、七十一歳の尊いご生涯を終えられた、中村國彦議員の御遺影をお迎えし、謹んで哀悼の言葉を申し上げます。季節を巡って桜の花は咲けども、もう花の下でのあなたとの酒を汲みかわすことはできないこと、全く惜しい人を失ってしまいました。平成二十三年、初当選された以降、熱心な信念を持ち、特に、「水資源の保全」について、時には眩しいほどの純粋さをもって取り組む姿に、皆さんから強い信頼と期待を寄せられておりました。端正な風貌に、どこにそんな馬力があつたのか、町内の山中に散在する水源地の現況に、詳しいこ

とに深い感銘を受けました。一昨年、その症例はめずらしいという、大きな手術を受けられ、厳しい闘病の日々だったと思います。あなたは弱音を吐くこともなく、直後の議会に出席し、一般質問「水の問題」を発言するお姿に、強い影響と印象を心に焼きつけました。あなたは、ひたむきに、誠実で全速力で生き抜いてしまわれました。これからは、ゆっくりお休み下さい。そして、私達が議会人として、たゆまぬ研鑽がされますよう、天高き所から愛するご家族と同様に、お守り下さい。数々の思い出と友情に感謝申し上げます、追悼の言葉と致します。

中村國彦議員の足跡 一般質問通告のおもな内容

平成23年6月	水道水源について	平成25年3月	12月	水道源について
	水資源保全について			国土調査について
	地下水等水資源保全規制について	平成26年3月	12月	水資源について
				安心安全のまちづくりについて
平成24年3月	12月	6月	9月	水資源について
	水資源保全について			情報発信について
	生物多様性について			水資源の保全について
	水資源について			小水力発電について
6月	農林振興策について			水資源について
	水道及び道路行政について			潰れ地処理について
9月	有事の際の水資源確保について			水資源について
	教育問題について			番号制度導入について



金井敬子議員

住民の目線でのケアシステムを

質問 医療費抑制のために安上がりな医療・介護提供体制をつくり、国民への大幅な負担増とサービス切り捨てを強いる国の制度改定が進めば、「医療・介護難民」が増えてしまわないか。

答弁 医療・介護の制度が現行のまま高齢化が進めば、必要なサービス提供ができなくなる。「地域包括ケア」の充実によるサービスの提供や、新たに創設された「地域包括ケア病床」への期待もある。

質問 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みは。

答弁 医師、警察、福祉事務所、ケアマネジャー、社協、地域包括

支援センター、町、民生委員等による「個別ケア会議」を開催。認知症高齢者の見守りを課題に、情報の共有、ネットワークづくりが少しずつではあるが進んでいる。

認知症対応策を

質問 町内の認知症の方の数は。

答弁 5月末で、認知症と認定されているのは1,011人。そのうち500〜550人が、在宅で生活していると思われる。

質問 認知症には、家族だけで抱えず、社会全体で解決を図っていく対策が必要。そのために、「認知症サポートキーカラバン」の取り組みを、強化・継続すべき。

答弁 更にサポーターを増やせるようにつとめたい。

質問 災害時に限らず、サポート体制を作るべき。「顔写真」付きの

登録を提案するが、

答弁 民間事業者と、「地域見守り活動」の協定を長野県が結んでおり、町もその窓口になつていく。家族の了解が得られれば、「顔写真」の登録を考える。

厳しい国保財政

質問 国保会計の見通しは。

答弁 資金繰りは大変厳しいが、前期高齢者の増加に伴い、前期高齢者交付金が前年比大幅増額の見込みで、なんとか国保税率据え置きでやっていけそう。

質問 4月からの消費税増税も加わり、税率が据え置きでも「負担が重い」状況に変わりはしない。国保税の引き下げを。

答弁 これ以上の負担増は避けたいが、厳しい財政状況の中では、引き下げは困難。



中山透議員

赤砂崎防災公園

質問 県における防災公園の考え方は。

答弁 県の計画には入っていない。

質問 広域でのヘリポートの取り扱いは。

答弁 話はしていないが、その都度検討。

質問 整備計画の進捗率と、補助金内示は。

答弁 進捗率は76.4%、補助金は要望額の満額。今年度、来年度は国へ満額要望していく。

質問 最終整備年度は。

答弁 H28年度までに整備。

質問 災害時以外の公園の利用について。

答弁 今後検討。自然なども入れて整備していく。町内団体には利用に対して減免も考えたい。

観光振興

質問 町の木「桜」の、町としての啓発は。

答弁 かつては、「桜いっぱいにする会」の活動もあり、湖周や水月園に植樹などをした。

質問 桜を使った観光誘致は。

答弁 旅行会社や湖上からの観桜企画がされて、多くの観光客が来ている。

質問 水月園の桜で、観光客の獲得を。

答弁 ソメイヨシノを中心に560本あり、毎年民活で増えている。

質問 水月園までの道路整備を。

答弁 町としては「99分のまち歩き」に入れていきたい。今後バイパスが園の下を通るので、様子を見たい。

質問 桜の植樹を、町が勧めたらどうか。

答弁 桜は、耕作者にとっては迷惑なもの。耕作者の理解を得ながら検討する。

人口増対策

質問 町の人口推計は。

答弁 公的機関の数として、H52年で総人口1万3,485人に減少する見込み。

質問 町の今後の考え方は。

答弁 人口減を前提に第六次総合計画を組み立ててきた。魅力ある町づくりをしていく。

質問 小中学校の統廃合について。

答弁 現段階では、小中二校体制の堅持が望ましいと考える。

質問 将来、合併の考え方は。

答弁 「諏訪は一つ」の考えは持っている。現在は各自自治体で頑張っている。各首長が責任を持って行っている。

安心・安全の町

質問 藤の木信号の移設とグレイスフル下交

差点の注意喚起は。

答弁 地域と共に、課題を解決していきたい。



津金裕美議員

住民要望に添う 保育サービスの 提供について

質問 「子ども・子育て支援新制度」に関するニーズ調査が、昨年実施され、新制度は多様な保育サービス、子育て支援の拡充もあるが、町の保育園の考え方は。

答弁 ニーズ調査を精査して支援計画を策定中である。公立で保育園を守っているが、子育て中心から、女性の就労支援と環境が変わってきているので、今後は女性が働きやすい保育環境のあり方を考えながら検討していきたい。

質問 3歳未満児保育の現状と、みずべ保育園未満児室の確保は。

答弁 4月1日現在、3園で70人。保育希望は、母親の育休、産休明けでプラス5人の希望保育がある。受け入れは、75人まで可能。みずべ保育園の0歳1歳児は、大部屋であるので、支援計画で検討。

質問 多子世帯への保育料軽減措置を拡大する考えは。

答弁 強い要望があるのは承知している。財政負担もあるので、同時入所でない第3子以降については、検討していく。

質問 保育、教育現場で日本語指導が必要な子ども、保護者への支援を。

答弁 小中学校に日本語の指導が必要な生徒が1人。漢字に振り仮名を付ける等の対応をしている。母国語通訳等、支援が可能か考えたい。

特殊詐欺被害

質問 町内の被害状況と対策は。

答弁 今年は、2件の840万円と66万円の被害があった。被害届が出されていない被害もある。劇場型でストリー性があり年々巧妙化している。高齢者を孤立させないよう、啓発パンフの配布、ビデオ上映、行政無線、公用車での呼びかけ等情報発信に努め、早急に対応をはかる。

防災行政ラジオ

質問 今後の斡旋と、通信機器のデジタル化移行後の対応は。

答弁 現在、在庫がなく、斡旋していない。完全デジタル化では使用できなくなる。デジタル受信機は、8万〜10万と高額であり、今後の国の動きに注視しデジタル、アナログ併用化をして準備を考えている。NTTのトーカー案内システムの導入も検討。

駅前バス整備 工場跡地、町長 が取得に前向き

質問 駅前のバス整備工場跡地の活用法について。

答弁 「防災機能の他、観光と地元商業活性化に資するものとして町で取得して」と、オルゴール通り商栄会、広瀬町、商工会議所から要望を受けた。町単独財源での購入は困難だが、防災公園整備として国土交通省の交付金が可能か協議中。それが得られるなら、取得したい。

ものづくり支援 センターの今後

質問 商工会議所と町連携のものづくり支援センターが4年目に入った。今後の運営について考えは。

答弁 観光と並ぶ下諏訪の特色はものづくり。それぞれが持つ素晴らしい技術をどう生かしていくのか。センターを連携の中心にしたい。

観光施設整備

質問 春宮周辺整備の計画について。

答弁 教員住宅を取り壊し、施設整備をする。通年観光に役立つよう、ひと目で御柱祭が分かるものを考える。

20号バイパス

質問 国道20号下諏訪岡谷バイパスの進展状況は。

答弁 本年度、国土交通省より8億1千万円が予算計上され、第3工区の平成29年開通に向けて塩嶺大橋の工事進捗と、第1工区(下諏訪〜岡谷)の詳細設計、用地測量、及び一部用地買収に着手する予定。

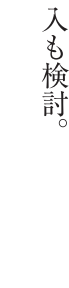
消防団員の処遇 改善について

質問 当町の消防団員数と、処遇改善について。

答弁 団員の定数281人に対し実員数は、6月現在254人。今後、消防団のPRや処遇改善を推進し、団員確保に繋げていく。処遇改善については、退職報償金を一部改正。消防団員応援事業も、16事業所が登録いただいている。今後消防団装備の充実を図り、地域防災力の強化を図る。

質問 「子ども・子育て支援新制度」に関するニーズ調査が、昨年実施され、新制度は多様な保育サービス、子育て支援の拡充もあるが、町の保育園の考え方は。

駅前跡地



駅前跡地

ものづくり支援 センターの今後

質問 商工会議所と町連携のものづくり支援センターが4年目に入った。今後の運営について考えは。

答弁 観光と並ぶ下諏訪の特色はものづくり。それぞれが持つ素晴らしい技術をどう生かしていくのか。センターを連携の中心にしたい。

20号バイパス

質問 国道20号下諏訪岡谷バイパスの進展状況は。

答弁 本年度、国土交通省より8億1千万円が予算計上され、第3工区の平成29年開通に向けて塩嶺大橋の工事進捗と、第1工区(下諏訪〜岡谷)の詳細設計、用地測量、及び一部用地買収に着手する予定。

消防団員の処遇 改善について

質問 当町の消防団員数と、処遇改善について。

答弁 団員の定数281人に対し実員数は、6月現在254人。今後、消防団のPRや処遇改善を推進し、団員確保に繋げていく。処遇改善については、退職報償金を一部改正。消防団員応援事業も、16事業所が登録いただいている。今後消防団装備の充実を図り、地域防災力の強化を図る。



小口 峯一 議員

八島湿原と

カエルについて

質問 八島湿原の呼称はどう変遷してきたか。

答弁 以前は七島八島、八島高原といった様々な呼び名が混在していたが、一帯が湿原であることをPRするため、2006年から八島湿原に統一されてきた。

質問 混乱を避ける為七島八島の呼び名に戻したらどうか。

答弁 今は八島湿原にかなり統一されてきた。

質問 シュレーゲルアオガエルの声を聞く「カエルバス」や、カエルで知られる全国各地域とのカエルサミットを開く考えは。

オガエルの知名度が上がり、観光客が増えればうれしい。現在はカエルの鳴く五〜六月にバス運行が無いので、検討したい。サミットは交流や開催でどんな効果があるのかを見極め、検討したい。



観光PRキャラクター「やしまる」

質問 シュレーゲルアオガエルをイメージした観光PRキャラクター「やしまる」製作の狙いは。着ぐるみから鳴き声が聞こえれば、知名度も高まるのでは。

検討してもらえないのでは。

ワカサギを獲る 楽しみ町民にも

質問 ワカサギ採卵の後に、一河川だけでも開放し、獲る楽しみを味あわせてほしい。漁協との交渉を。

答弁 厳しい経営状況から、難しそう。

発達に気がなる子について

質問 各校に、発達が気になる子の支援員がいる。その数や、仕事は。

答弁 基本的に、各校に一人ずつの配置。安全確保に努め、「読む、書く、聞く」が困難な子どもに寄り添う。

地方教育行政 改正案について

質問 教育委員会は、首長から独立した執行機関であることについての見解を。また、本改正案は首長の権限の強化と教育委員会の独立性を失わせるものと思うが。

答弁 (教育長)独立した行政機関として町長とも相談しつつ、配慮いただきバックアップしてもらっている。法改正で大きく変化するとは思っていない。(町長)独立性、中立性は十分心得ているが、全て丸投げすべきものではない。教育がどうあるべきか意見交換し、子どもたちの健全育成を図っている。法改正があっても現在の関係は変わるものではない。

基本的には「子どもたちにとって何が必要か」だ。

質問 教育委員会の活性化の取り組みは。社中の事件も踏まえて。

答弁 社中の事件は大変迷惑をかけた。心からお詫びする。放課後の補習参加や指導など、開かれた学校に向けた取り組みを多岐にわたって進めていることを、広く発信していきたい。

質問 国のねらう競争をする国づくり、競争主義の押し付けに対する見解は。

答弁 郷土を愛する気持ちや育ると共に、国際社会に貢献し平和を愛する気持ちを育てることは教育の役目。過度な競争主義はあつてはならない。

御田町の雨水排水 工事について

質問 御田町の雨水排水工事の今後の予定は。衣紋坂の工事予定は。

答弁 御田町工事は29年度までの完成をめざす。衣紋坂は7月上旬に説明会、お舟祭りまでには完成予定。電線の地中化等は、まちづくり協議会を立ち上げ検討していく。

駅前通りの 活性化について

質問 駅前通りが寂しい。空き店舗で店を開きたい人がいても、家賃がネックになるのではないか。

答弁 殆ど店舗として活用できる状況でない。町として何ができるか、検討していきたい。

質問 バックパッカーの宿は期待大であるが、町としてのフォローは。

答弁 宿泊費3,000円程度で、新しい旅行者・客層の人たちが来ると思う。興味深く見ていき、町の発展の可能性に大きな期待をしている。



松崎茂彦議員

災害と道路事情 避難場所周辺は

質問 赤砂崎や各地区避難施設周辺の活断層液状化による基幹道路の寸断が心配される。予想と対策は。

答弁 赤砂崎は震度6

以上で液状化により6センチ沈下という調査結果が出ている。巨大地震で周辺の液状化は否定できない。下水道管とマンホールの調査は行っていきたい。

農林水産業への 期待度と決算額

質問 一般会計歳出における農林水産費は金額、割合ともに大幅に低下してきているが減少事由と期待度は。

答弁 平成5年度からは1億5千万円減少しているが、当時は土地改良林道開設改修など

多くの投資が行われたが現在は重点が維持管理で、その分減少している。

耕作放棄地増加 荒廃地の対策は

質問 病害虫・鳥獣被害、雑草繁茂、ゴミ無断投棄などのほか豪雨水害、土砂崩れ、火災発生が危惧されるが実態回避の取り組み指導は。

答弁 草など生えていると住民からの苦情があれば所有者にお願いしている。承知川流域の荒廃地は農振地域であり農地転用は難しい。

学校給食に町の 生産物の活用を

質問 地産地消の観点から学校給食に町の生産物の利用拡大を。

答弁 夏休みに収穫が集中する等で学校からの要求を全ては満たしていない。事前に打ち合わせするなど検討したい。

里山の環境整備

質問 下諏訪力創造チャレンジ事業である「望湖台」から「山吹城」「城山」「大見山」そして「富部鎌倉街道」に至るルートをベースとして町の特性を活かした遊歩道、トレッキングロードの設置を希望するが。

答弁 住民の皆様は活動内容を県に伝えバツクアップをしていただくと考えている。

湖の経済と文化

質問 町の活性化に漁獲量、観光客数、食の提供など諏訪湖の恩恵豊かさを数値目標にしたい。

答弁 多くの人に関わる問題であるので、町としては関係者の目標を尊重し見守っていく。



小池忠弘議員

人口減少問題 対応と対策は

質問 町の人口減少が進む。日本創生会議の推計で「将来消滅の可能性ある自治体」に町も入ったがどう捉えたか。今後、人口減問題にどう対応していくか。

答弁 突然の発表で驚いた。減少は避けられないが、くいとめる施策を進める。移住促進、婚活事業、空き家活用、特に働き盛り、若い人の労働人口を増やしていきたい。

質問 それらを検証していくための継続的な全庁あげてのプロジェクトはできないか。

答弁 定期開催の課長会議は政策会議でもあり、住みやすく、住み続けたいまちづくりが結果的に人口増対策。

そこで考えを共有していく。

質問 子育て支援として要望の強い子ども医療費無料化を18歳までに拡大できないか。

答弁 無料化の拡大は近隣市との関係も無視できない。子育て世代のニーズにあった独自の支援計画を策定中。奨学金は、町に就職した場合の免除を、実施の方向で検討している。

公共施設の活用 町の方向性は

質問 旧第一、第八保育園は南小改築関連で使っているが、その後の施設の有効活用をどう考えているか。

答弁 確定はしていないが、第一は4区、下中から利用要望がある第八は現在「子育て支援計画」を作成中で未

満見保育の需要が大きく、将来的に有力な候補と考えられる。

交通弱者対応 利便性の向上を

質問 福祉タクシーの利用は一回1枚でなく利便上で複数枚の使用可能にとの要望が強い。

答弁 高齢者が家にこもらず地域に出てほしい主旨で一回1枚で始めたが、要望もあり、2枚使用くらいは認める方向で検討中。

質問 4月からのあざみ号は2台できめ細かい運行になったが、一部以前よりダイヤを含め不便との声がある。

答弁 新ダイヤ運行後、要望が寄せられてきた。よ課題もみえてきた。より利便性の高いダイヤ改正にしたい。今年はこのままだが、議員を含め要望をあげて欲しい。来年の改正にかしていく。



林 元夫議員

財政について

質問 新地方公会計制度に基づく連結財務諸表の経年的な分析。資産合計の減少要因は。

答弁 地価の下落と建物の減価償却による。また土地開発公社の簿価を実勢価格で取得したことによる減。

質問 連結行政コストが増加傾向にある。要因は。

答弁 生活インフラ・国土保全の分野で約29億円増加、社会保障で2億円が増加したことによる。これからも高齢化により社会保障給付が増える。財源の計画的積立などにより、健全財政を維持していく。

質問 売却可能資産について。
答弁 簿価と実勢価格

の資産評価差額が4億7千万円あるが、計画的に売却し財源として活用する。

土地活性化について

質問 春宮周辺は観光導入のみでなく、住民も同化できる空間に。

答弁 子どもも、ふれあいの出来るものにしてたい。

質問 JR駅前跡地を先行取得しては。

答弁 国の交付金を近いうちに得られる可能性は高い。

質問 空地・空き家の再生を。老朽化した空き家の対策は。

答弁 移住促進に活用できる9件を空き家情報バンクに登録した。5月末での登録件数は20件となった。老朽化で危険な空き家の撤去には個人所有物なので慎重にならざるを得ない。

質問 ますや旅館のよ

物件はまだ何軒もある。行政として積極的に行動する時期では。

答弁 所有者に対し再調査を実施している。宅建協会との連携、移住コンシェルジュ等のPRに努める。

高齢者の意識改革について

質問 医療介護制度の変更によって、地域にあった介護が求められる。町独自の介護について議論されるべきだ。高齢者ボランティアによる共助思想による活動の活性化と高齢者の高齢者による福祉の向上が必要で、町は積極的にバックアップを。

答弁 地域が一つになって生活できる街にしたい。共助は大切なことで、町としても積極的に援助する。



青木利子議員

地域活性化対策

質問 団塊の世代のUターンへの支援は？

答弁 ものづくり支援センターではシニア世代を活用した新たな新製品、ユニット等の開発・発掘も事業の中にある。今まで培ってきた技術を発展させて、新たな製品を作りたいとか新たなコンセプトの新商品を作ってみたいといった方もおられます。製品開発については積極的な支援体制が整っている点をアピールしていきたい。

質問 町の特性をいかすためには？

答弁 平成28年4月からの「第七次総合計画」の策定に向け、「住みやすさ満足度調査」を本年度実施します。

男女共同参画の推進について

質問 男女共同参画推進週間については？公募の「家事場のパパカラ」のキャッチフレーズは小学校4年生のみなさんによるもので大変嬉しいが。

答弁 平成13年度から毎年6月23日から29日までの一週間実施。「男女共同参画週間」は地方公共団体、女性団体、その他の関係団体の協力の下に男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事が、全国的に行われます。内閣府では、理解を深めることを目的にキャッチフレーズを公募していますので、町民に周知をはかります。

教育について

質問 学校新聞（たより）については？

答弁 通信を学校のことを知る機会として地域の声を聞きながら、一番見て頂ける回覧で既に2回発行しました。

質問 通学区ごとか？

答弁 本来なら4校だが、通学区対象地域に住民の方の声を聞きながら進めたい。区長会にお願したところ、大変好意的に対応しサポート頂いています。

質問 写真入りと近々の行事掲載について？

答弁 写真入りは好評で、子どもたちの様子がよく分かるとの声。行事は年間ではなく、近々のことを子どもたちの様子を含めて発信。また、学校長がどういった考えを持って学校運営をしているかも発信します。学校と地域が繋がるツールになればと続けたい。





そこを知りたい、
議会のアレコレ

? 一部事務組合について?

一部事務組合は、地方自治法に基づき普通地方公共団体（下諏訪町）がその事務の一部を共同して処理するために、協議により規約を定め、構成団体の議会の議決を経て、都道府県が加入するものによっては総務大臣、その他のものによっては都道府県知事の許可を得て設ける特別地方公共団体であります。

一部事務組合が成立すると、共同処理するとされた事務は、関係地方公共団体（下諏訪町）の権能から除外され、一部事務組合に引き継がれます。組合内の関係地方公共団体につき、その執行機関の権限に属する事項がなくなったときは、その執行機関は消滅します。

現在、下諏訪町議会として、湖北行政事務組合の議会に4名、諏訪広域連合の議会に3名、湖周行政事務組合の議会に4名参加しています。

湖北行政事務組合

湖北行政事務組合は、岡谷市、諏訪郡下諏訪町、上伊那郡辰野町の1市2町で組織しています。

この組合で、共同処理を行う事業は、し尿処理施設の設置及び経営と、火葬場の設置及び管理です。

組合長は、岡谷市長。副組合長は下諏訪町長、辰野町長及び岡谷市副市長をもってあたり、組合議会の議員定数は17人（岡谷市9人、下諏訪町4人、辰野町4人）となっています。下諏訪町議会からは、中村奎司議長、津金裕美議員、小池忠弘議員、中山透副議長が選出されています。本会議は、岡谷市の議場を借りて行っています。

し尿処理施設「湖北衛生センター」（辰野町）の設置及び経営に関する事務は、岡谷市、下諏訪町、辰野町の1市2町で、共同処理しています。負担金は、各市町の人口割20%と利用割（施設への投入量）80%の負担割合により、関係市町が負担しています。

また、火葬場「湖風苑」（岡谷市）の設置及び管理・運営に関する事務は、岡谷市、下諏訪町の1市1町で、共同処理しています。負担金は、人口割100%で、平成24年度決算で、下諏訪町は、29・1%の負担割合となっています。



火葬場「湖風苑」

諏訪広域連合

諏訪広域連合は、岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の3市2町1村で構成され、①諏訪地域の広域行政の推進 ②諏訪地域ふるさと振興基金事業の実施 ③救護施設八ヶ岳寮の設置、管理及び運営 ④病院群輪番制病院運営費補助事業 ⑤諏訪地区小児夜間急病センターの設置、管理及び運営 ⑥諏訪広域連合の基金の運用 ⑦介護保険法 ⑧障害程度区分審査会の設置及び運営 ⑨消防（消防団及び消防水利施設に関する事務を除く） ⑩ごみ処理広域計画の策定及び同計画に基づく事業の実施に必要な連絡調整 ⑪関係市町村職員の人事交流の調整、共同研修及び人材育成 ⑫関係市町村の電算処理の調整に関する事務など、多岐にわたる事務処理をしています。

連合議会の議員定数は定数22人（岡谷市5人、諏訪市5人、茅野市5人、下諏訪町3人、富士見町2人、原村2人）です。また、常任委員会が設置されており、下諏訪町の議員は、総務消防委員会に金井敬子議員、福祉環境委員会に中村奎司議長と中山透副議長が参加しています。本会議は、諏訪市の議場を借りて行っています。

湖周行政事務組合

湖周行政事務組合は、岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町で組織されています。

事務内容は、ごみ処理計画に関する事務、ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関する事務です。

組合長は岡谷市長、副組合長は、諏訪市長、下諏訪町町長及び岡谷市副市長をもってあたり、下諏訪町議会からは、中村奎司議長、河西猛議員、藤森スマエ議員、中山透副議長が選出されています。

組合議会の議員定数は12人（岡谷市4人、諏訪市4人、下諏訪町4人）となっています。本会議は岡谷市の議場を借りて行っています。



ecoポップ完成予想図

この組合は、現在岡谷市に建設中の諏訪湖周クリーンセンター（通称ecoポップ）の建設、運営を行う事務組合です。

負担は、建設経費が均等割10%・実績割90%で、建設後の経常経費は事務的経費均等割10%・実績割90%、運営経費実績割100%となっています。

商工会議所との懇談会が行われる

下諏訪町の産業の現状と課題

下諏訪町の産業の現状と課題等を話合う、2年ぶり4回目の下諏訪商工会議所と議会との懇談会が、5月13日に商工会議所で行われました。商工会議所からは、濱会頭はじめ12名、議会からは中村議長はじめ13名の合計25名の参加でした。

懇談会は、それぞれの挨拶に続き、自己紹介、商工会議所事業の報告そして意見交換の順序で進められ、活発な意見交換の場となりました。

濱会頭挨拶では、消費税の対策室の設置や経営指導やバックボーンとして、これからもしっかりとやっていく、また支援センター事業にも力を入れ、下諏

訪ならではの価値あるもの「下諏訪プレミアム」を提唱、生き残りを図りたい旨を話されました。そして中村議長からは、人口減少対策の意味も含めて、働く場の確保など商工会議所の存在価値がますます増大しているなどの話がされました。

以下に懇談会の内容をお伝えします。

会員数が減少傾向

商工会議所からの事業説明

森田専務からの事業報告では、会員数について町内の商工業者数の減少に伴い、25年度で加入者数29件、脱退者数54件で前年度比25件減少していること、会議内容、共済事業などの事業内容、また金融あっせんなどの中小企業相談所についての説明を受けました。平成26年度要望については、①地域経済活性化対策などの中小企業対策について ②ものづくり支援センターしすわ事業の積極的推進の工業について ③商店街環境整備事業の充実などの商業について ④観光総合振興策の推進などの観光事業について ⑤リフォーム事業の充実など建設について ⑥産業フェアの共同実施などについて 以上6項目の要望について説明がありました。最後に匠の町しすわ商いプロジェクトなど平成26年度実施予定の補助事業についても報告されました。補足説明では、濱会頭か



ら補助金の減少が厳しいなどの発言がありました。

新しい起業 バックパッカーについて

濱議員 創業補助金のますや旅館は。濱会頭 平沢町にあり、バックパッカーを中心とした新しい形態の旅館になり、若い女性が創業する。

小口副会頭 海外から来た青年や東京の仲間が手伝い改装している。2千円台くらいで泊まれるようだ。気軽に訪れることができる形態の旅館は、下諏訪にも新しい可能性が出てくる。

町の経済状況について

小池議員 賃上げや雇用などの町の経済状況は。濱会頭 有効求人倍率は回復基調だが諏訪はあまりよくない。下諏訪のDI的調査をしてみたい。

小原監事 中南信の経済回復は遅れている。建設関連は底を脱した。

丸茂監事 諏訪の有効求人倍率は0.96、全国平均は1.05で低い。製造業は業種格差が大きい。食品関係は消費税の影響もなく良い。

御子柴委員長 専用機を使用した仕事は海外に行った。設備投資を行うのかなど、かじ取りは難しい。町の将来像に若い女性などの意見を反映しては。

濱会頭 消費税率が3%上がったから賃金を3%上げようというのは、中小企業にとっては現実には無理だ。

これからの課題について

河西議員 事業内容の意見陳情の具体的内容は。森田専務 全国一斉に税制改正要望を出す。国に2件、町に1件。

濱会頭 地域活性化委員会でも問題提起され、要望活動をしている。

中村議長 会員数の減少について。

濱会頭 ここ2、3年の傾向は変わらない。

中村議長 新規会員も26件ある。期待したい。

濱会頭 御田町など町外からの企業が増えている。製造業は1件もない。ものづくり支援センターに期待がかかる。

“下諏訪プレミアム”を提唱！

ものづくり支援センターの期待大きい



下諏訪商工会議所と町議会との懇談会

ものづくり支援センターについて 有利な補助金・独自産業化を

林議員 共済、補助金申請や支援センターについて森田専務 共済事業としては、従業員のための特定退職金共済や、事業所のための各種共済制度を行っている。

濱会頭 専務や今度来られた支援センターの安田さんは補助金に詳しいので、有利な補助金を受けられるよう指導していく。

小林副会頭 支援センターは、2名から4名に増員され、3名は従来の企業連携を中心に共同受注にあり、商業・工業に農業をプラスした独自産業化を図るため、6次産業化の専任者を1名設置した。

懇談会参加者

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 丸茂監事
(諏訪信用金庫) | 松崎議員 |
| 小原監事
(八十二銀行) | 河西議員 |
| 御子柴ものづくり
委員長(湖北工業) | 津金議員 |
| 花岡総務委員長
(介護センター花岡) | 藤森生活文教常任
副委員長 |
| 小口副会頭
(ライフサービスオグチ) | 青木総務経済常任
副委員長 |
| 小林副会頭
(インクスシナノ) | 林総務経済常任
委員長 |
| 濱会頭 | 中村議長 |
| 河西副会頭
(新鶴) | 中山副議長 |
| 永田まちづくり
委員長(永田薬局) | 濱生活文教常任
委員長 |
| 藤澤観光委員長
(ブラッツ) | 小池議会運営
委員長 |
| 森田専務 | 金井議員 |
| 前田事務局長 | 山田事務局長 |
| | 瀬戸係長 |

議会基本条例の制定に思う



下諏訪町議会 元議長 清水辰夫

諏訪圏域において初の議会基本条例が制定された事を、喜ばしく思います。かつてこの事に関わってきた者として、当時議会基本条例より自治基本条例が先行されるべきだと言う根強い意見がある中で、この度制定に至ったことは、大変な努力の結果であると思います。

過去に研修視察の折に、他県の議会でしたが、条例は作ったけれど活動が無いという話をされました。この頃下諏訪町議会で

は基本条例はありませんでしたが、すでに各種団体との懇談会などを行っており、時の委員長の発言に「私共より進んでいる」と感嘆の声が発せられました。今後、基本条例に基づいた活動が展開されませんが、前文や条文に示された文言の一つ一つは非常に重いものがあり、実践のためには大変な努力が求められます。議会が真価を発揮するのも、又真価を問われるのもこれからです。

編集後記

今回の議会だより内容は、いかがだったでしょうか？皆様に読みやすく、見やすくを心がけて作成しています。ぜひ皆様の感想を、お寄せ下さい。

今回で4回目の製作となり、編集作業にも少し、ゆとりが出来ました。議会報は、議会でこうなりましたではなく、よ



が少しでも皆様に伝わり、そして、議会の意気込みを知って頂く事こそが、この議会だよりの目的です。

ぜひ本会議場の傍聴にも来ていただき、今では珍しい馬蹄型の議場をご覧下さい。議員一同皆様の傍聴を、お待ちしております。

(T・N)

議会だより編集委員会

- 委員長 金井 敬子
副委員長 林 元夫
委員 松崎 茂彦
委員 中山 透

議長をつぶやき 私の好きな詩 中村 奎司

今昔、二十年程前読んで胸にズッコけている方がいい互いに非難することがあっても非難する資格が自分にあつたかどうかあとで疑わしくなる方がいい



正しいことを言うときは少しひかえめにする方がいい正しいことを言うときは相手を傷つけやすいものだと気付いている方がいい

立派でありたいとか正しくありたいとかいう無理な緊張には色目を使わずゆつたり ゆたかに光を浴びている方がいい(後略)

議会の傍聴してみませんか？

本会議は、傍聴席で受付します。本会議中は、庁内放送もしていますので、ぜひお耳を。